

地域づくり協議会だより 52号

発行日：令和3年2月1日 発行者：葉栗連区地域づくり協議会

一宮市大毛字南出120番地（葉栗出張所内） 電話：28-9001

☆ 葉栗連区は狙われている！！ ☆

12月11日（金）に葉栗連区老人クラブ連合会のクラブ長を対象として、一宮市生涯学習出前講座『自主防犯していますか？』が開催されました。

当日は、一宮警察署生活安全課による寸劇『特殊詐欺に遭わないために』を観ながら、常日頃から家族との連絡、地域の人とのつながりを深め、被害に遭わない対応を学びました。

私たちが住む葉栗連区は、侵入盗被害が多発しています。

令和1年1月～12月までの侵入盗の発生件数16件が、令和2年1月～11月までで26件発生しています。

この発生件数は、愛知県下の発生件数2,454件のうち一宮市が184件、岡崎市139件、豊田市138件と一宮市がワーストワンです。さらに一宮市の中でも発生件数のワーストワンが葉栗連区です。

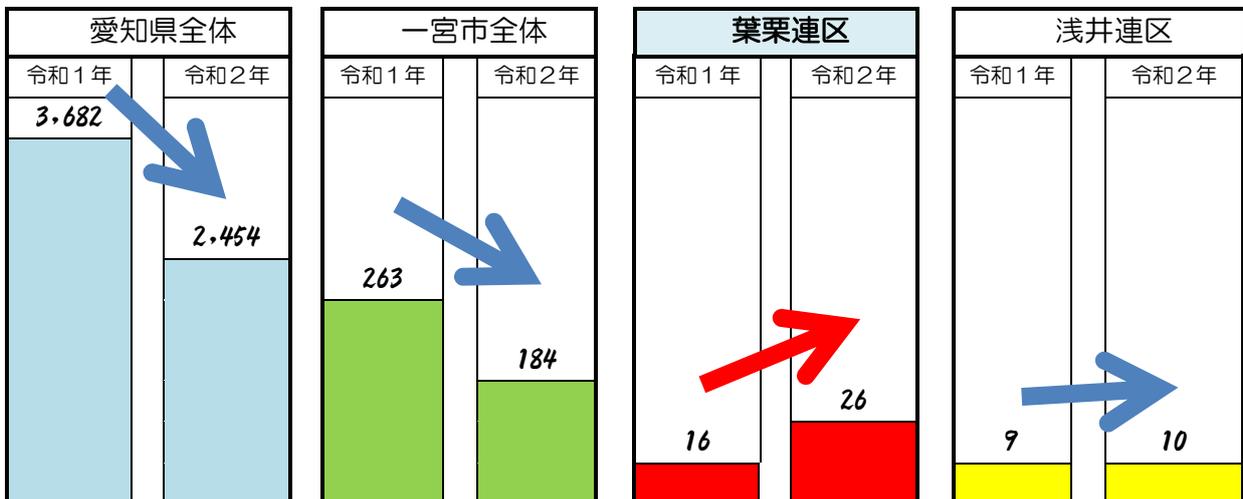
出かけるときは、《鍵かけ》《声かけ》《心がけ》を励行し、被害に遭わないようにしましょう。

現在、地域づくり協議会として、防犯カメラの設置を進めています。また、葉栗防犯パトロール隊も日夜防犯活動に努めています。

鍵かけ、声かけにより、侵入盗犯罪のない安全で安心な住みよい葉栗連区になるよう、みなさまのご協力をよろしくお願い致します。



侵入盗の発生状況推移（発生件数は、令和1年は12か月間、令和2年は11か月間）



「緊急事態宣言」発令！

新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をお願いします



を避けて 
外出しましょう！

①換気の悪い
密閉空間



②多数が集まる
密集場所



③間近で会話や
発声をする
密接場面

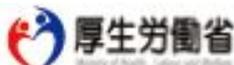
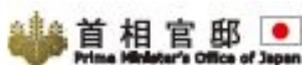


新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。
イベントや集会で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

《文献：首相官邸・厚生 労働省 HP より》

3つの条件がそろう場所が
クラスター(集団)発生の
リスクが高い！

※3つの条件のほか、**共同で使う物品**には
消毒などを行ってください。



手洗い励行

外出先から戻ったら、
しっかり手洗いを



マスク着用

人混みやバス、電車内
ではマスク着用を



免疫力増進

適切な睡眠、食事、運動
で免疫力増進を



嚴重警戒

新型コロナウイルス感染症 第3波克服に向けて

☆ 感染リスクの高まる場面 ☆



〈大人数や長時間におよぶ飲食〉
大人数での会食や宴会・
大声での会話を控える



〈飲酒を伴う懇親会等〉
狭い空間・回し飲みや
箸などの共用に注意



〈居場所の切り替わり〉
休憩時間での気の緩み、休憩室・
喫煙所・更衣室でも注意



〈マスクなしでの会話〉
近距離での会話、昼カラオケ、
車・バスでも注意

《一人ひとりの新型コロナウイルス感染対策》

感染防止の3つの基本

(1) 身体的距離の確保、(2) マスクの着用、(3) 手洗い

- ・人との間隔は、できるだけ**2m(最低1m)**空ける。
- ・会話をする際は、可能な限り**真正面**を避ける。
- ・外出時や室内でも会話するとき、症状がなくても**マスク**を着用する。
- ・家に帰ったら、**まず手や顔を洗う**。手洗いは、**30秒程度**かけて水と石鹸で洗う。
- ・感染の流行っている地域への**移動は控える**。
- ・発症した時のため、**誰とどこで会ったか**をメモする。

日常生活様式：買い物

- ・一人または**少人数**ですいた時間に。
- ・計画を立てて**素早く**済ませる。
- ・サンプルなど**展示物**への接触は控える。
- ・レジに並ぶときは、**前後にスペース**を。

《文献：一宮市HPより》

☆ 一宮市 100 年の始まり ☆

「一宮市」という名前は、尾張国の一ノ宮である「真清田神社」があることに由来し、尾張一宮とも呼ばれ、JR の駅名にもなっています。

明治 22 年（1889）10 月 1 日、町制施行により、中島郡一宮村と一色村が合併し一宮町となり、大正 10 年（1921）9 月 1 日、市制施行により一宮市となりました。当時の世帯数は 6,398 世帯、人口は 3 万 558 人。

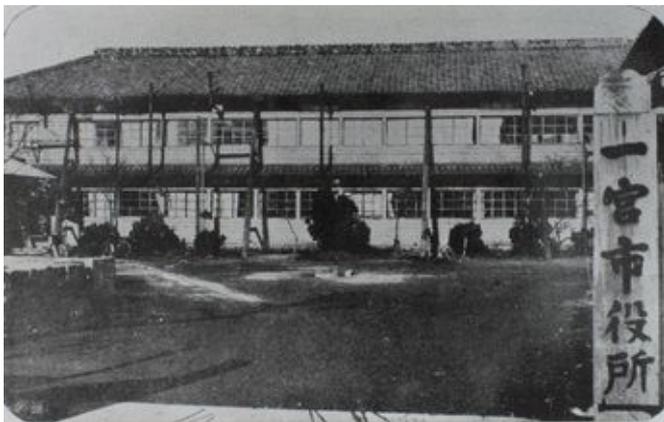
初代市長は当時の一宮町長の日野常太郎氏（大正 10 年 12 月～昭和 5 年 11 月）が就任しました。

大正 11 年（1922）、市庁舎新築のため、元一宮高等女学校校舎（写真左下）に移り、昭和 5 年（1930）、市庁舎（旧一宮庁舎 写真右下）が完成しました。

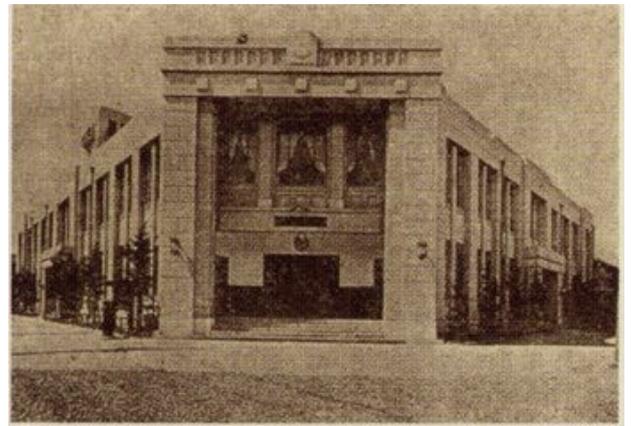
第 2 代市長は小島太左衛門氏（昭和 5 年 12 月～昭和 8 年 12 月）。



市制施行当時の一宮市役所

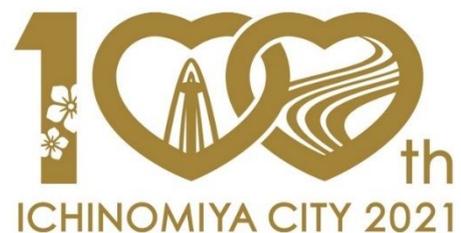


仮庁舎時の一宮市役所



旧市庁舎完成

いちばん
だいすき。
一宮



《文献・写真：一宮市 HP より参照》

☆ 葉栗連区の始まり ☆

私たちが住む葉栗連区の明治 22 年以前は、葉栗郡大毛村、高田村、島村、杉山村、光明寺村、笹野村、更屋敷村、田所村、佐千原村、富塚村に分かれており、明治 22 年 10 月 1 日の町制施行により、大田島村（大毛村、高田村、島村、杉山村）、光明寺村（光明寺村、笹野村、更屋敷村、田所村）、佐千原村（佐千原村、富塚村）となり、明治 39 年 5 月 1 日に葉栗郡葉栗村になりました。

昭和 15 年 8 月 1 日に郡部として最初に一宮市に編入し、昨年で 80 年を迎えました。

世帯数 6,755 世帯、人口 16,635 人（令和 2 年 12 月 1 日現在）



《写真：一宮中央図書館より》